

2021年度

コミュニティ・コラボレーションセンター

活動報告



コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)は、大学の理念「違いを共に生きる」に込められた思いを基に、「地域に根差し、世界に開く」という姿勢で教育・支援を行うセンターです。学生が地域の様々な人と幅広い活動に励み、生きた学びを得て成長するようにサポートしています。昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で学外での活動に大きな制限がかかる中で2021年度の活動の一部を、以下の通り報告します。

CCC Topics

●SDGs 講座&団体交流会

昨年から続く、コロナ禍の影響で多くの団体の活動が自由にできなくなる状況が続きました。そんな中、14団体61人の学生たちが講座や交流会を開催、自分たちの団体の活動がSDGs17項目のどれにあたるのかなど検討しました。また、それぞれの団体の活動内容や課題を共有、意見交換を行うなど互いに学び合い、活動意欲を高めました。



CCC開設科目

CCCでは社会貢献活動に学生が段階的にチャレンジできるよう、様々な体験学習ができる授業を開講しています。

「CCCキズナプロジェクト」は、地域やNPOと連携し実際に活動を行うプロジェクト型授業です。今年度後期には、企画:キズナ学生×主催:NPOポバイで、障がいの方のアート作品を100点以上展示し『ナニコレ誰が描い展?!~個性は額には収まらない』を開催しました。会場協力は商店街の再生を行うニシヤマナガヤの未完美術館です。5日間で約150の方が来場し、たいへん盛況でした。



学生の活動

CCCでは学生の活動を支援しています。今年度も様々な分野で活躍しました。

●URコミュニティでの小学生向けSDGs 講座

「自分たちが体験してきたSDGsを子どもたちにも伝えたい!」という想いで活動を続ける学生団体Bazz4Uが、星が丘UR集会所にて「今の海を知ってちょっと先の未来を変えよう!」と体験型講座を行いました。参加した子どもたちからは、次回も参加したい旨の感想が聞かれました。

●東邦ガス・子ども向け環境講座

東邦ガス株式会社からの依頼で、学生団体エネASが子ども向け環境講座を行いました。生物多様性をテーマに日本ミツバチを例に挙げ、生態系の仕組みなどを解説しました。

